

高校図書館による企画

Book & Bag & Cafe

ステキな なにかを おもちかえり

1. 企画主旨

高校図書館部会は、今年は「じっくり滞在して楽しめる展示会場にする」ことを企画の中心とした。来場者が、本を見ながら座ってゆっくりできるテーブルを用意したり、1つ1つの展示に細かな工夫を凝らしたり、プレゼントは選ぶ楽しさがあるようにたくさんの数を準備したり…と、私たちのおもてなしの心で空間をいっぱいにして、隅々まで楽しんでもらえるようにしたいと考えた。訪れた方に、「図書館と県民のつどい」に参加して良かった、満足した、と思って帰っていただくことが狙いである。そしてその先には、図書館を理解し、応援してくださる人、図書館のファンが増えたなら、という願いもこめた。

2. 運営

今年も埼玉県高校図書館研究会（埼玉高図研）で実行委員を募り、そのメンバー6人が中心となって企画を進めた。実行委員会は5回開催し、会場となった桶川市民ホール内ブチホールの下見を重ねるなど、入念な準備を行った。さらに、前日の会場設営と当日には、協力スタッフとしてのべ16名の高校司書が加わった。

3. 企画の詳細と当日の様子

① メッセージ・ツリー

会場中心に「メッセージ・ツリー」と名付けたクリスマスツリーとカードを用意し、来場者に図書館や本についてのメッセージを書いていただいて、それをオーナメント代わりに飾りつけていった。「高校で図書委員をしてから、もっと図書館が好きになりました」「そ

の本に引きこまれるところが、本のいいところだと思います。本だーいすきです。」など、幅広い年齢層からの素敵なメッセージで、ツリーがにぎやかにデコレーションされていた。



② 模擬ブック・カフェ&フリー・ドリンクコーナー



「もし私がブック・カフェのオーナーだったら」という仮定で4人の司書が各1テーブルを担当、デザインした。出現した模擬ブック・カフェは「書齋カフェ」「うたカフェ」「カフェ・ひとくせ」「HARUHI'S BOOK CAFE」。これらのテーブルでは、用意されたフリー・ドリンクを飲みながら、思い思いに本を手にとって過ごす来場者の姿が見られた。



③ エコバッグプレゼント+企画展示「かばんの中からかばんの本が」



昨年好評だった新聞エコバッグに加え、絵本の表紙でもバッグを作って用意した（計400個）。新聞や絵本の表紙提供と製作は高図研内で協力を呼びかけ、夏前からとりかかった。来場者にはお好きなものを選んで持ち帰っていただいたが、混雑時は二重三重の人垣が出来るほどの人気だった。実はこのバッグの中にも、会場から帰った後も楽しんでいただこうと紅茶の“バッグ”が仕込んであったのだが、みなさんに喜んでいただけただろうか？

プレゼントコーナーの近くには、かばんにまつわる本を集めた展示コーナーも作った（「かばんの中からかばんの本が」）。

④ 高校図書館 Days（写真の展示）



高校図書館での生徒の様子を中心に紹介した。県内各校から今年になって集めた新しい写真ばかりである。メッセージ・ツリーのテーブルをはじめ数カ所に分けて展示され、来場者の目をあちこちで惹きつけていた。

⑤ 高校図書館紹介 LibraryNavi



高校図書館の活動を様々な角度から切り取って紹介する LibraryNavi を作って配布した。その内容は①「ある高校図書館司書的一天」②「学校行事と高校図書館」③「数字で見る高校図書館」④「なんでも解決！」⑤「授業利用エピソード」の5種類である。

⑥ 高校図書館広報誌・紙の「展示」と「お持ち帰り」コーナー



各校が発行している広報紙・誌（新着案内や館報等）を展示し、来場者にお持ち帰りいただいた。用意した持ち帰り分が午前中では

高校図書館による企画

ぽなくなるほどの反応があった。このコーナーは毎年設けているので、「図書館と県民のつどい」リピーターの方がひとつの目当てにしていらっしやるのかもしれない。

⑦ 埼玉県推奨図書コーナー



これも毎年高校部会が担当しているコーナーである。今年は POP をさらにカラフルにし、メニュースタンドにはさむ工夫をしたので、推奨図書のラインナップが見やすく、立ち止まっていろいろな本を手にとってみる姿が多く見られた。

4. 上橋菜穂子氏著作展示

文学館ロビー（ガラスケース内）での「上橋菜穂子氏著作展示」は、高校部会が力を発揮したもう一つの展示である。



上橋氏独特の作品世界が、雰囲気たっぷりに

表現され、多くの方が足を止めて見入っていた。そして、講演会終了後も、この展示が素敵な余韻を会場にもたらしていたようである。上橋先生にもご覧いただき、「まあ、(私の世界観を) わかっていらっしやるのね!」と、とても喜んでいただくことができ、担当者一同感激であった。

5. 参加者のアンケートより

- ・図書館職員の“声”や生徒さんの“声”が伝わってくるようでとても生き生きとしていたのが印象的でした。
- ・初めてこのイベントに来たが、1コーナー1コーナーに工夫が凝らしてあって楽しい。
- ・心あたまるもてなしをされている感じでよかったです。
- ・いろいろなブック・カフェの趣向が面白かったです。読みたい本がありました!
- ・真中のツリーやパネルにある高校生たちの写真がいいです。
- ・プレゼントしていただいたバッグがうれしかったです。早速作ってみようと思います。
- ・のどをうるおせるフリー・ドリンクがあってありがたかった。
- ・受付や入口でのニコニコの挨拶が素敵でした。

6. おわりに

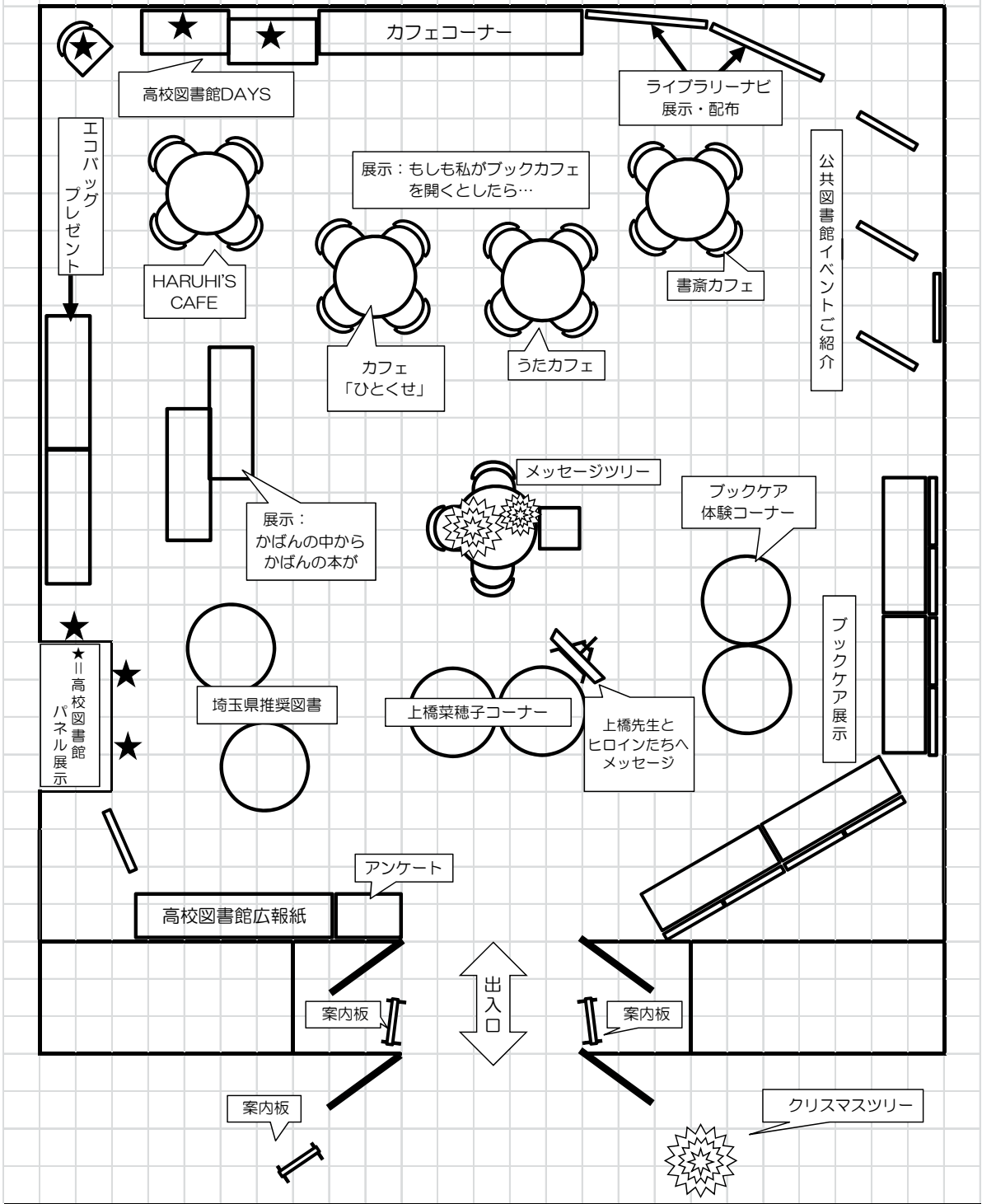
上記アンケートからもわかるように、「じっくり」と「隅々まで」楽しめる展示、という狙いは実現できたと思う。埼玉高図研として、今年も「図書館と県民のつどい」の一角を盛り上げることができたという達成感を、実行委員一同感じている。

最後になりましたが、ご協力いただいた高図研各校の皆様、本当にありがとうございました。

TOSHOKAN TO KENMIN NO TSUDO! TOSHOKAN TO KENMIN NO TSUDO!

プチホール 会場図

>>>> 高校図書館+公共図書館 展示 <<<<<



TOSHOKAN TO KENMIN NO TSUDO! TOSHOKAN TO KENMIN NO TSUDO!